

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	035	人権意識の醸成
総合計画	基本目標 III 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習） 基本施策 01 互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進	主担当部課名 市民協働推進部 多様性社会推進課
めざす姿	性別、年齢、国籍や障害の有無などを問わず、市民一人ひとりがお互いの人間性を尊重し、認め合うとともに、地域においてそれぞれが抱える問題や悩みについて助け合いがなされるなど、偏見や差別のない、人へ寄り添えるまちになっています。	
SDGsとの関連	   	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	1,142,000	2,927,000	1,199,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	32,000	32,000	42,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	1,110,000	2,895,000	1,157,000			
予算現額	1,167,000	3,345,000	0			
決算額	1,019,868	2,879,975	0			
国庫支出金	115,000	115,000	0			
都支出金	25,794	25,794	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	879,074	2,739,181	0			
執行率	87.4	86.1	0.0			
(人件費)						
職員数	0.60	1.60	0.00			
職員人件費	4,700,884	12,798,914	0			
月額制会計年度任用職員数	5.00	5.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	16,243,460	16,090,580	0			
(間接経費)						
間接経費	2,201,815	28,463	0			
総コスト	24,166,027	31,797,932	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 性別や年齢等による不利益があると感じている市民の割合	12.1 %	実績 16.5	達成率 194.1	-	0.0	8.5
② 人権意識啓発講座（市民向け）の受講人数	25 人	実績 322	達成率 322.0	-	0.0	100
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	性別、年齢、国籍や障害の有無など、多様性を認め合う共生社会が求められている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	令和4年10月より、東京都がパートナーシップ宣誓制度を開始した。	(人権) LGBTQに関して、市民及び職員両方に対して知ってもらう機会を提供することができた。 (女性人権) ・コロナ禍において、中学校でのデートDV講座が実施できずにいたが、R4年度は1校において実施でき、その他の講座においてもオンライン開催と会場開催同時に行うことで、市民が参加方法を選ぶことができ、参加を促すことができた。	
市民ニーズ	性的マイノリティ、外国人に対する差別、SNS上での誹謗中傷など、人権問題は多種多様化している。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	人権啓発事業		主担当部課名	市民協働推進部 広聴相談課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 人権の花運動実施校	3	計画値	3	4	4	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8	
	校	実績	3	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
要因の具体的内容		計画通り実施できた。														
		計画値						要因の種類(※)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
事務事業名称	女性人権推進事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 講座受講者数	49	計画値	50	60	70	80	80	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人	実績	322	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
要因の具体的内容		コロナ禍において、中学校でのデートDV講座が実施できずにいたが、R4年度は1校において実施でき、その他の講座においてもオンライン開催と会場開催同時に行うことで、市民が参加方法を選ぶことができ、参加を促すことができた。														
		計画値						要因の種類(※)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	(人権) ・憲法講演会の実施 ・職員に対する人権啓発研修の実施 (女性人権) ・女性の自立支援事業に関する講座、デートDV関連啓発講座の開催			
今後の展開	(人権・女性人権) 引き続き、人権意識の啓発に取り組む。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
多種多様化・複雑化した人権問題に係る正しい知識の普及や啓発に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
(人権) ・市民一人ひとりがお互いを尊重し、認め合うには、相手を知り、理解する必要があることから、関係団体等と協力して、正しい知識の普及や啓発に努める。 ・若年層への人権意識の醸成を図る。 (女性人権) ・デートDVに関する講座を実施し、若年層への人権意識の醸成を図る。	(人権) ・東京都が11月よりパートナーシップ宣誓制度を開始することに伴い、性的マイノリティへの理解を深める事業を実施する。 (女性人権) ・DV等の女性人権に関する意識啓発事業、女性の自立支援に関する事業を実施する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
(人権) ・憲法講演会の開催 ・LGBTQに関する職員向けの研修を実施 (女性人権) ・女性の自立支援事業に関する講座、デートDV関連啓発講座の開催	協働により実施した(4、5に該当しないもの)	(女性人権) ・女性に対する暴力をなくす運動期間や性犯罪・性暴力対策の集中強化期間等を活用し、暴力は人権侵害であるという意識啓発事業とデートDV関連の意識啓発講座を実施する。また、DV被害者等の十分な保護救済とそれを支援する施設の円滑な運営のためには、関係課による被害者支援事業や他市の補助金交付状況も鑑み、検討していく。

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	036	平和意識の啓発
総合計画	基本目標 III 多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習） 基本施策 01 互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進	主担当部課名 市民協働推進部 多様性社会推進課
めざす姿	市民一人ひとりが府中市平和都市宣言を尊重し、世界平和への願いや愛する郷土を未来に引き継ぐ意思を持った上で、自らも幸せに生活しています。	
SDGsとの関連	 	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	3,258,000	2,197,000	3,386,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	2,200,000	0	0			
一般財源	1,058,000	2,197,000	3,386,000			
予算現額	3,258,000	2,197,000	0			
決算額	2,059,106	1,059,262	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	1,800,000	0	0			
一般財源	259,106	1,059,262	0			
執行率	63.2	48.2	0.0			
(人件費)						
職員数	0.72	0.80	0.00			
職員人件費	5,641,061	6,399,457	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	158,762	0	0			
総コスト	7,858,929	7,458,719	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 「日々安心して暮らせる平和」が大切であると感じている市民の割合	90.9	実績	93	-	-	92.5
	%	達成率	100.5	0.0	0.0	
② 平和啓発事業における来場者の満足度	86.2	実績	86.2	-	-	90
	%	達成率	95.8	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮による核ミサイル発射など、平和を脅かす状況が続いており、平和意識の啓発が求められる。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	都は3月10日を「東京都平和の日」と定め、都内自治体と連携して様々な事業を実施している。	当課への業務移管に伴い、既存事業の内容の見直しを行ったことで、若い世代の参加者が増えた。	
市民ニーズ	昨今の世界情勢により、平和への関心が高まっていると考えられる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	平和啓発事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 平和のつどい参加者数	50	計画値	50	75	100	150	150	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	47	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
要因の具体的内容		既存事業の内容の見直しに加え、平和展(3月展)を東京都との共催により実施したことで、参加者数の増加につながったと考えられる。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平和展（2回）、平和のつどい、夏休み平和子ども教室、平和映画会の実施 ・子どもたちが楽しみながら平和について学べるよう、「平和のつどい」と「夏休み平和子ども教室」は内容を見直した。 			
今後の展開	より効果的な事業とするため、不要な事業は廃止し、継続事業の内容を拡大・充実させる。また、現在や未来の平和について考える機会を増やし、平和についての考えを発信できる若者を増やす。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
平和意識の更なる啓発に関すること。		
4年間（計画期間中）で協働により推進したい具体的な取組（解決したい課題・着手したい事業等）	今年度の方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが平和について考え、その考えを他者に発信できるようなイベントを、関係団体等と協力して実施し、次世代を担う平和意識を持った人材の育成に努める。 ・戦争体験を風化させることなく伝承する。 	参加者が受け身になるのではなく、平和について主体的に考え発信できるよう、既存のイベントの見直しを行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・平和のつどいで「ミーツ・ザ・ワールド（オンライン上で外国の方とつながり、平和について学ぶ）」を実施 ・夏休み平和子ども教室で「平和の灯」キャンドル制作のワークショップを開催 	協働により実施した（4、5に該当しないもの）	不要な事業を廃止し、継続事業を拡大・充実させることで、平和について主体的に考え、自身の意見を発信できる人材の育成を目指す。

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	037	男女共同参画の推進			
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）	主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進		
めざす姿	市民一人ひとりが府中市男女共同参画都市宣言を尊重し、男女が性別にかかわらずあらゆる分野で平等に参画した上で喜びと責任を分かち合い、自分らしく豊かに生きることができています。				
SDGsとの関連	 				

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	40,973,000	42,063,000	50,425,000			
国庫支出金	0	0	410,000			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	1,403,000	1,187,000	4,577,000			
一般財源	39,570,000	40,876,000	45,438,000			
予算現額	43,513,000	43,450,000	0			
決算額	41,827,967	41,949,599	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	895,427	1,241,129	0			
一般財源	40,932,540	40,708,470	0			
執行率	96.1	96.5	0.0			
(人件費)						
職員数	4.10	2.40	0.00			
職員人件費	32,122,709	19,198,370	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	1,580,188	0	0			
総コスト	75,530,864	61,147,969	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 性別による役割分担意識にとらわれない人の割合(理想)	86.1	実績	87.2	-	-	90
	%	達成率	96.9	0.0	0.0	
② 性別による役割分担意識にとらわれない人の割合(現状)	42.7	実績	-	-	-	50
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルス感染症の社会活動全般への影響は大きく、特に女性や子供など社会的弱者への支援が重要視された。また、性別役割分担意識は根深くあり、継続的な意識啓発が求められる。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
		市政世論調査における「性別による役割分担意識にとらわれない人」の割合は年々増加傾向にあるため。	
国・都の政策	令和4年度においては男性の育休取得推進を目的に「育児・介護休業法」が改正され、令和6年4月には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行するなど、社会経済動向に合わせた法整備等が行われている。		
市民ニーズ	令和4年度に実施した市政世論調査において、女性が職業を長く持ち続けていくうえで壁になっているものの最も回答が多かったのは「家事・育児との両立が難しい(32.9%)」であり、家庭内外における家事育児の支援が求められる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	男女共同参画推進事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 性別による役割分担意識にとらわれない人の割合	86.1	計画値	87	88	89	90			90	1	2	3	4	5	6	7	8	
	%	実績	87.2	-	-	-			-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		男性の育児取得推進を目的に育児・介護休業法が改正(令和4年4月から段階的に施行)されるなど、法整備等を背景とした男女共同参画意識の向上が図られたと考えられる。																
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称	男女共同参画推進協議会運営事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 女性委員の割合	-	計画値	72	64	64	56			56	1	2	3	4	5	6	7	8	
	%	実績	72.7	-	-	-			-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		委員の公募市民が女性のみであることや、委員推薦元の選出が女性であったため、女性委員の割合が高くなった。																
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
事務事業名称			主担当部課名					事業種別										
次年度における事業の位置づけ																		
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
		計画値								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		
		計画値								要因の種類(※)								
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・男性（パパ）をターゲットとした主催講座を開催し、満足度の高い内容を実施することができた。 男性（パパ）講座 1事業 88人 ・女性人財データベースを設立し、審議会等へ女性が参画しやすい環境を整えた。 			
今後の展開	市民への意識啓発事業に加え、市内事業所への男女共同参画に関する意識啓発事業を実施する。			

4年間の総合評価

評価	
実績	
今後の展開	

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する事。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
ワーク・ライフ・バランス促進のため、主催・共催・市民との協働等で講座を開催し、意識啓発を図る。	ワーク・ライフ・バランスの推進の中でも、男性の育児参加意識の啓発や仕事や生活の両立の意識啓発を目的とした講座を開催する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
協働講座 14講座（開催回数88回、参加人数1243人）	協働により実施した（4、5に該当しないもの）	協働講座（予定） 10講座（開催回数76回、参加人数／定員1582人）

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	038	都市間交流の促進	
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進
めざす姿	市民や団体、事業者が姉妹都市や友好都市などの住民等との理解や親睦を深め、主体的に交流を行っており、相互にまちの魅力を高め合っています。		
SDGsとの関連	 		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	64,787,000	97,905,000	104,904,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	210,000	29,310,000	21,210,000			
一般財源	64,577,000	68,595,000	83,694,000			
予算現額	64,787,000	107,619,000	0			
決算額	59,680,084	105,404,614	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	31,000,000	0			
一般財源	59,680,084	74,404,614	0			
執行率	92.1	97.9	0.0			
(人件費)						
職員数	1.20	2.60	0.00			
職員人件費	9,401,768	20,798,235	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	2,844,013	99,593	0			
総コスト	71,925,865	126,302,442	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 佐久穂町と行った交流の件数	7	実績	2	-	-	12
	件	達成率	16.7	0.0	0.0	
② 友好都市ヘルナルス区へのホームステイ派遣者数	6	実績	0	-	-	6
	人	達成率	0.0	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルス感染症や世界情勢により、都市間交流の手法や実施判断に影響が生じる。情勢に応じた形態での交流の検討が必要である。	評価	外部要因の影響で遅れが生じた
		新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、事業を実施できなかった	
国・都の政策	新型コロナウイルス感染拡大による移動制限や活動の自粛要請、世界情勢による渡航制限などにより事業の実施判断に影響がある。		
市民ニーズ	昨今の世界情勢にもかかわらず、友好都市へのホームステイ派遣説明会には多くの参加があり、交流への関心は高い。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	姉妹都市交流事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 市が実施した佐久穂町との交流事業に参加した市民の数	108	計画値	108	110	112	115	115	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、交流事業を中止														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	友好都市交流事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 友好都市ヘルナルス区へホムステイ派遣者数(年間)	6	計画値	6	6	6	6	6	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、派遣事業を中止														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	(外部要因の影響などもあり) 計画をやや下回る成果であった			
今年度の主な取組と成果	(友好都市) ・ヘルナルス区と友好協定締結30周年を記念した事業(記念誌の作成、ヘルナルス区訪問、30周年記念展の開催)を実施。			
今後の展開	(姉妹都市) 市民保養所やちほを使用しない交流事業を実施する (友好都市) ・ヘルナルス区との交流事業では、市民が関心を持てる情報の提供や、多くの市民が参加できる交流事業を検討していく。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
姉妹都市や友好都市などとの交流に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
本市が主催で行う姉妹都市や友好都市との交流だけでなく、様々な分野や幅広い年代が参加でき、市民や団体、事業者等が主体となって行う交流を推進していく。そのため、まずは姉妹都市や友好都市を知ってもらい、興味を持ってもらう機会を増やしていく。	(姉妹都市) ・佐久穂町とはコロナ禍で交流ができていないが、来年度以降の交流方法を考え、市民と町民が交流できる機会をつくる。 (友好都市) ・令和4年度はヘルナルス区と友好協定を締結して30周年を迎えるため、これまでの交流を市民に知ってもらうとともに、異文化交流を次世代へつなげるイベントを開催する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
(友好都市) ・これまでヘルナルス区との交流に関わってきた方々に原稿を書いていただき、30年間の交流を記念誌にまとめた。 ・30周年を記念し、市長、議員訪問団及び市民訪問団とヘルナルス区を訪問し、交流を図った。 ・市民団体や学校等と協働で記念展を開催した。	協働による相乗効果を得ることができ、その効果を市民に還元することができた	(姉妹都市) ・親子とうもろこし収穫体験 ・商工まつり ・八千穂高原自然の旅 ・秋の友好訪問 ・協働まつり (友好都市) ・ヘルナルス区から派遣生を受入れ ・府中市からヘルナルス区へ派遣生を派遣 ・ヘルナルス区訪問団を受入れ

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	039	多文化共生の推進	
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進
めざす姿	国籍や民族などの異なる人が、本市の構成員（市民）として互いに言語・文化などの違いを理解した上で関係を築き、多様な価値観を認め合いながら共に暮らしています。		
SDGsとの関連			

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	16,734,000	24,416,000	23,425,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	300,000	300,000	300,000			
一般財源	16,434,000	24,116,000	23,125,000			
予算現額	16,734,000	28,774,000	0			
決算額	12,970,921	24,106,842	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	130,000	0			
一般財源	12,970,921	23,976,842	0			
執行率	77.5	83.8	0.0			
(人件費)						
職員数	1.45	1.70	0.00			
職員人件費	11,360,470	13,598,846	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	4,479,080	0	0			
総コスト	28,810,471	37,705,688	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 外国人市民の日本語学習会参加者数	3,900	実績	2,245	-	-	4,800
	人	達成率	46.8	0.0	0.0	
② 府中国際交流サロンボランティア登録者数	162	実績	106	-	-	175
	人	達成率	60.6	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	国内及び市内在住外国人は増加しており、外国人住民への支援策のほか、市民の多文化共生意識の醸成が求められる。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
			新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響等により参加者数は目標値を下回ったが、予定していた日本語学習会を開催できた。
国・都の政策	総務省により「地域における多文化共生推進プラン」が策定され、自治体における取組が求められている。		
市民ニーズ	日本語学習会への参加者は一定数おり、施策が必要とされている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	多文化共生推進事業		主担当部課名	市民協働推進部 多様性社会推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 外国人市民の日本語学習会参加者数	3,900	計画値	4,000	4,200	4,500	4,800	4,800	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人	実績	2,245	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		サロン移転に伴い、例年に比べ日本語学習会等活動の回数が少なかった														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・府中国際交流サロンにおいて日本語学習会を計画どおり開催した。 ・府中市多文化共生センターDIVEにおいて、ウクライナ避難民をはじめとした外国人相談に対応した。 ・物価高騰の影響に対応して、困窮外国人支援事業を行い日用品等の提供を行った。 			
今後の展開	日本語学習会や外国人相談を実施するほか、市民の多文化共生意識の醸成を図る。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
多文化共生の推進に係るイベントの開催や情報発信などに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民も安心して暮らすことができるよう、日本語学習会や分かりやすい情報提供などの支援を行う。 ・市民の多文化共生意識の醸成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民が相談しやすいよう、関係機関と連携し、体制の整備を行う。 ・多言語・やさしい日本語での情報発信を行う。 	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティアによる日本語学習会を開催した。 ・府中国際交流サロン、東京外国語大学との協働により外国人向けの生活情報ガイドブックを作成した。 	協働による相乗効果を得ることができ、その効果を市民に還元することができた	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ等を活用し、市の生活情報を多言語で発信

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	040	地域コミュニティの活性化支援			
総合計画	基本目標	Ⅲ	多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）	主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課
	基本施策	01	互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進		
めざす姿	自治会等を中心として同じ地域に住む人たちが助け合い、自立的に様々な活動が展開されるとともに、文化センターでの事業をきっかけに世代を超えた地域住民の触れ合いと交流が更に深まり、地域でつながる住みよいまちが形成されています。				
SDGsとの関連	  				

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	566,980,000	368,859,000	437,302,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	1,978,000	2,838,000			
市債	0	0	0			
その他	227,887,000	50,519,000	36,310,000			
一般財源	339,093,000	316,362,000	398,154,000			
予算現額	555,231,000	425,713,000	0			
決算額	508,199,531	384,431,221	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	1,740,000	0			
市債	0	0	0			
その他	164,678,722	89,508,471	0			
一般財源	343,520,809	293,182,750	0			
執行率	91.5	90.3	0.0			
(人件費)						
職員数	51.00	48.70	0.00			
職員人件費	399,575,157	389,566,933	0			
月額制会計年度任用職員数	1.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	3,248,692	0	0			
(間接経費)						
間接経費	20,041,421	24,004,405	0			
総コスト	931,064,801	798,002,559	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 各文化センター圏域でのコミュニティ行事の参加者数	182,514 人	実績 達成率	155,581 85.2	- 0.0	- 0.0	- 0.0	182,514
	69,000 世帯	実績 達成率	66,845 96.9	- 0.0	- 0.0	- 0.0	69,000
② 自治会加入世帯数		実績 達成率					
		実績 達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	全国旅行支援に象徴されるようにコロナの危険性を考慮して外出を控える風潮が減少した。それに伴い、屋外消費や外出が増加したため、①の指標値がコロナ禍以前の水準に回復した。	評価	目標達成に向け順調に進捗した
国・都の政策	コロナによるイベント規制が徐々に緩和されてきたため、昨年度よりイベントを実施しやすい環境であった。それに伴い、①の指標値がコロナ禍以前の水準に回復した。		①は目標達成とならなかったが、コロナによる制限があるなかでコロナ禍前の基準値に近い水準まで指標値を回復させられたことから、順調に進捗したと評価する。 ②は本市の自治会加入率は基準値から令和4年度にかけて約3%減少している。一方で、総務省が公表した自治会加入率の調査結果をもとに算出した減少率は本市に近いものであった。このことから、②の目標である現状維持は達成とならなかったが、全国的な傾向から逸脱している指標の推移ではないため、順調に進捗したと評価する。
市民ニーズ	コロナの危険性よりも人との交流を重視する方が増えてきたと考えられる。それに伴い、①の指標値がコロナ禍以前の水準に回復した。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	コミュニティ圏域内地域交流促進事業		主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① コミュニティ圏域事業実施数	135	計画値	135	138	138	138	138	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	132	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		国や都によるイベント制限の緩和やコロナの危険性よりも屋外での活動を優先する社会的傾向が高まったなどの要因により、コロナ禍でも中止になる事業は少なかった。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	文化センターの老朽化対策事業		主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課			事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 老朽化対策事業に着手した文化センター数	0	計画値	0	1	2	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8
	か所/累計	実績	0	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		基本方針を策定した。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	地域コミュニティ活動活性化支援事業		主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 公会堂整備事業助成件数(新設・改修・補修・敷地)	27	計画値	27	28	28	28	28	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	22	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		2自治会が申請をキャンセルしたが、緊急修繕を希望する自治会に補助金を交付できたため、概ね計画通り実施できた。													
② 掲示板整備事業助成件数(新設・建替え・修繕)	35	計画値	30	30	30	30	30	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	37	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
要因の具体的内容		自治会の希望申請額の合計が予算額を下回ったため、令和5年度に掲示板整備を検討していると回答した自治会に対し、令和4年度中の整備意向を相談した結果、2自治会が実施したため、計画値を上回る件数となった。													

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	各文化センターでは、地域住民の交流とふれあいの場を広め、コミュニティ活動を活発にするため、コミュニティ協議会が主体となり、各種行事を実施している。 今年度はコロナの影響を受けながらも地域まつり、ちびっ子ふれあい文化祭やコミュニティ文化祭といった大規模行事を再開させることができたため、地域コミュニティの醸成環境はコロナ禍以前の水準に回復しつつあった。			
今後の展開	文化センターが地域住民がふれあい、つながる拠点となつて、より多くの方々に参加していただけの伝統行事の継続など、地域の特性を活かした事業をコミュニティ協議会と共に展開していきたい。 あわせて、将来的に事業を継続して実施するためのパートナーの確保や育成を優先課題として検討していきたい。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
地域コミュニティの活性化や担い手の確保に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
近年、人と人とのつながりが希薄化していることや自治会の加入率が減少していることから、地域活動を担う新たな人材の確保が課題となっている。 このため、自治会等の活動拠点となる公会堂や自治会内の情報伝達手段である掲示板の良好な維持管理を補助することで地域住民の公共福祉の増進を図る。情報周知については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一時期自治会回覧を停止し掲示板への掲示を依頼していたことから、コロナ禍においても安心して情報共有ができる方法として電子回覧板の活用を推進していく。 また地域住民の交流とふれあいの機会を提供し、地域への愛着につながるよう、各圏域文化センターのコミュニティ協議会との協働により地域の特性に合わせた事業を実施することや、市民生活に密着した自治会の連合組織である府中市自治会連合会と協働することで、地域社会における住民自治の振興と市民生活の向上を図る。	公会堂と掲示板整備事業については、実施予定の自治会に早期修繕を促し、差額の確定後緊急修繕を希望する自治会に補助金を交付する。回覧板については、紙媒体の回覧を復活させると共に、電子化に向けて試行事業を開始する。 自治会連合会については、自治会加入率向上のため引き続き活動を支援していく。コミュニティ圏域内地域交流促進事業については、コロナの感染拡大防止対策を講じ、安心安全を第一に事業を実施する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
公会堂と掲示板整備事業については、実施予定の自治会に早期修繕を促し、差額の確定後緊急修繕を希望する自治会に補助金を交付した。 回覧板については、紙媒体の回覧を復活させると共に、電子化に向けて試行事業を開始した。 自治会連合会については、自治会加入率向上のため活動を支援した。 コミュニティ圏域内地域交流促進事業については、コロナの感染拡大防止対策を講じ、安心安全を第一に事業を実施した。	協働により実施した(4、5に該当しないもの)	公会堂と掲示板整備事業については、実施予定の自治会に早期修繕を促し、差額の確定後緊急修繕を希望する自治会に補助金を交付する。 回覧板については、令和5年4月から電子回覧板を開始しており、安定的な運用体制の構築を図る。 自治会連合会については、自治会加入率向上のため引き続き活動を支援していく。 コミュニティ圏域内地域交流促進事業については、令和5年5月にコロナが5類に移行される予定であるため、令和元年度までのようにコロナによる制限を受けずに事業を実施できると見込まれる。コロナ禍で得た経験を活かして、より魅力的かつ効果的な事業の実施を目指す。